

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 7年 11月 25日

多治見市議会 議長 様



会派名 政友会

12 番議員 氏名 吉田 企貴

質問題名	観光立市という考え方
質問要旨	都市経営を行う上で、人口減少が所与の条件となっている以上、「人口が減っても元気なまち」を目指していく必要がある。 人口減少がもたらす負の側面のうち、最も深刻なものは「消費の減退による都市機能の低下」であり、もう一つは「労働力の不足」であると考えられる。今後、大学の誘致を契機に労働力の不足については一定程度改善が見込まれるが、飲食店をはじめとするサービス業、バスやタクシーと言った公共交通機関などの都市機能を維持する「消費」は、今後は外から呼び込んでくる必要があると考える。 以上のような観点に立った時、「観光」という概念を軸に多治見市政全体を捉える必要があることから、以下の通り質問する。
質問項目①	多治見市にとって、「観光」とは何であると考えるか。
質問項目②	「多治見市産業観光振興計画」及び「地域経済戦略」について。
質問項目③	観光入込客数について、どう捉えているか。
質問項目④	E B P Mに基づく観光戦略について。
質問項目⑤	シティブランディングについて。
質問項目⑥	メディアの活用について、どのように考えるか。
質問の相手方	企画部・経済部長

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 7 年 11 月 25 日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

10 番議員 氏 名 城 處 裕 二

質問題名	避難行動要支援者の個別避難計画作成事業と地域力
質問要旨	近年の頻発化・激甚化する自然災害から高齢者や障がいを持つ方をはじめ市民の命を守るための対策は喫緊の課題です。災害に対する認識を深め、自助の意識、共助の意識を持ち備えることにより、地域の『共助力』を高め災害に強い地域を創ることが肝要と考えています。 一方頼るべく自治会においては、その重要性とは逆行し加入率が70%を下回るなど地域の結びつきはより一層希薄になりつつあります。 今回の事業は、地域力の必要性を見直す良いきっかけになると考え以下の質問をいたします。
質問項目①	避難行動要支援者の個別避難計画作成状況について
質問項目②	今回の作成計画のねらいについて
質問項目③	小学校区別ハザードマップ講習会の実施状況について
質問項目④	
質問項目⑤	
質問の相手方	市長・企画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 7 年 11 月 25 日

多治見市議会 議長 様



会派名

新生自民

2 番議員

氏 名

亀井 芳樹

質問題名	外国人をめぐる課題と共生～地域の安心を守るために～
質問要旨	近年、多治見市においても外国人住民の増加が見られ、地域の暮らしの背景は多彩になってきています。 一方で、生活習慣や言語の違いから、地域住民との間に摩擦や不安が生じる場面も報告されています。 私は、こうした状況を「異文化の衝突」と捉えるのではなく、日本の文化や生活様式を基盤とした「和文化共生」という視点で、外国人住民とのより良い定住政策を構築していく必要があると考えています。 これは、外国人を非難するためではなく、まずは地域に暮らす日本人住民の安心と秩序を守るためのものです。 そして同時に、まじめに地域を支えてくださっている外国人の方々を、偏見や差別から守り、共に安心して暮らせる環境をつくるための提案です。 社会状況をかながみると、今後も増加傾向が続くと予想されるため、問題が顕在化してから対応するのではなく、事前に予防的な仕組みを整えることが重要であると考えています。 以上を踏まえ、次の4点について質問いたします。
質問項目①	外国人住民の実態把握と生活課題について 市内の外国人住民の最新の人口推移や生活の様子について、現状をお示しいただきたいです。
質問項目②	国保・生活保護における外国人住民の状況について 国民健康保険料の滞納状況や生活保護の申請について、日本人と外国人それぞれの件数や割合、可能であれば国籍別の傾向についても教えていただきたいです。
質問項目③	「和文化共生」の視点に立った定住支援策について 「支援」や「情報提供」にとどまらず、日本の生活文化や地域の秩序を理解してもらう仕組みについて、本市としてどのように考えているのか伺いたいです。

質問項目④	地域住民の安心を守るための相談体制と支援について 外国人住民の定住支援とあわせて、日本人住民の不安や不満を受け止める 相談体制の整備も重要です。今後相談が増えることが予想されますが、事 前予防の観点から、どのような方策や体制を整えていくのかお聞かせいた だきたいです。
質問の相手方	市長、教育長、市民福祉部長、環境文化部

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和7 年 11 月 25 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

17 番議員 氏名 林 美行

質問題名	インフレの時代、多治見市における財政運営の方向は
質問要旨	インフレ下においては物件費・委託費の増加、人件費の上昇圧力、社会保障関係費の増加、公共施設の維持管理・更新費用の増加により歳出への増加圧力が增大するとともに、歳入においても市民税、固定資産税は遅れての入になるとともに、一時的な収入である依存財源も恒久的財源になりません。このため、財政運営は計画的かつ臨機応変の対応が求められるものと考えます。 インフレの時代、多治見市における財政運営の方向について伺います。
質問項目①	中長期的な視点での財政計画・どの程度の期間を想定すべきか。
質問項目②	財政規律の維持はどのように担保できるか。
質問項目③	予期せぬ物価変動に対応するためには、年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金が大切と考えるが、どのような見通しとなるのか。
質問項目④	特に、物価上昇は賃金上昇圧力につながるものなので、人件費に対する考え方に特に注意しなければならないが、どのような対応となるのでしょうか。
質問項目⑤	財政運営は計画的かつ臨機応変の対応が求められる。このため、財務条例を一時棚上げにすべきではないのか。
質問項目⑥	一番大切な視点は、生活する市民を支援することで、地域での消費を縮小させないよう、生活者と中小の事業者をしっかりと支援する視点が必要になるのではないのか。
質問の相手方	市長、企画部長

市政一般質問発言通告書（代表質問・個人質問）

令和 7 年 11 月 21 日

多治見市議会 議長様



21 番議員 氏名

嶋内 九一

質問題名	合併20年 今思う事は
質問要旨	平成18年1月23日 多治見市と笠原町が合併 当時 心境をお聞きしたい 現在
質問項目①	合併特例債 執行状況
質問項目②	
質問項目③	
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、企画部長

市政一般質問発言通告書（

個人）

令和7年11月25日

多治見市議会 議長様



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	多治見市職員の勤務・配置・残業の現状と在り方について
質問要旨	これまでの役所の運営について、大きな転換期にきている事を感じている。 1つは市役所のみでなく、社会的な①「働き方改革」、②「職場のIT化」、そして③「人手不足」この3つは関連をしながら当多治見市役所にも影響を及ぼしており、具体的な対応が迫られている。 一つ一つ迅速に、かつ丁寧な対応が必要な事は、執行部においても承知のことと思うが、以下質問を行う。
質問項目①	「働き方改革」については、9月議会でも問題提起がされた市役所の開庁時間の変更がある。開庁し市民に対応するための準備、閉庁するためのまとめ等のために費やす時間を残業時間とみなすのか、サービス残業とするのか、当市ではどのように考えているのか？ また、残業として対応しているならばどの程度の金額となっているのか伺う。
質問項目②	財政健全化の視点から、職員の残業の現状について調査した際に、これは職員の配置や働き方の問題でもあると理解した。 開庁時間の変更はR7年から住民票などのコンビニ交付や電子申請などの利用拡大を背景に、一気に実施する自治体が増えている。 検討調査会？が設けられていると聞いたが、どのような状況でどのような課題があるか伺う。
質問項目3	残業についてはデータをいただいているが、6年度1人当たり平均は5年度平均の1.3倍となっているが、その原因は何か？ また、残業が通常的に多い課については職員の配置替え等で善処する事はできないか？
質問項目4	また、市議会でもようやくペーパーレス化に一步踏み出す事になったが、他市と比べ遅かったなという印象を持っている。 執行部として現在のIT化の状況とどこまでのIT化を目指すのか、保育所など部署によっても違いがあると思うが、いかがか？ 働き方改革も人手不足も事務のIT化が進むことでより職員の負担が減れば、一定程度の残業時間の削減と、職員採用でのポイントとしてプラスになるかと思うが、執行部の考えを伺う。
質問の相手方	市長・総務部長・企画部長

市政一般質問発言通告書 (個人)

令和 7 年 11 月 25 日

多 治 見 市 議 会 議 長 様



会派名 市民ネットワーク

19 番議員 氏 名 井上あけみ

質問題名	財政健全化に関わる判断指標の基準の見直しについて
質問要旨	先の全員協議会において提案された財政判断指標の見なおしは、定められた期間の途中で異例の変更であり、やむを得ない事情もあるかとは思いますが、その数値と説明について疑問があるので、以下質問する。
質問項目①	人件費の高騰については納得できる部分もあるが、人事院勧告による職員人件費増は 100%ではないが交付税で補填されているという事である。 指標見なおしの根拠というが、人件費増加分について全て市の負担であるかの誤解を招きやすい説明には疑問がある。どの程度の分が市の独自負担なのか？
質問項目②	判断指標の見なおしについては、市民財政懇話会に諮られているが、傍聴した際には、市民委員からの経費の削減案は無いのかの質問に対し、担当課からは「ふるさと納税寄付を増やす」と「ネーミングライツを増やす」という答弁で終わったが、それでは納得できないのではないのか？ 具体案は示せないのか？
質問項目 3	特に、経常収支比率については基準値 93%から 98%となった。一挙に 5%緩くするという事である。経常収支比率 1%アップは経常経費約 2.6 億円の上昇によることである。現在経常収支比率 91%であり。あと 5 億円の増で基準値に達する事から、一挙に緊急事態宣言は至る事を避けるという事だと考えるが、見通しが甘かったのではないのか？この決定はどのような場で為され、どのような議論がなされたか明らかにされるよう求める。
質問項目 4	経常収支比率が 98%は 100%に近い。100%という事は、財政に全く余裕がないという事である。他所の自治体で 100%越えているところもあるから、大丈夫という声もあるが、そのような姿勢を認めるのか？
質問項目 5	財政判断指数の見なおしについては、一切認めないという事ではない。議会の議決を伴うものではないが、その数値について議会での議論を踏まえ、再度の検討を求めるがいかかがか？
質問項目 6	なお、財政指数の見なおしと、今議会提案の定数条例の改正による前倒し採用との関連はあるのか？ ありとすればどのような影響があるのか？
質問の相手方	市長・企画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 7 年 11 月 25 日

多治見市議会

議長 様

- 7.11.25

第

号

会派名 オールたじみ

20番議員 氏名 石田 浩 司

質問題名	大分市で起きた大規模火災にみる多治見市の課題について
質問要旨	大分市佐賀関で起きた大規模火災から市としても改めて防災・減災体制を強化していく必要があると考え質問します。
質問項目①	住宅密集地の火災予防と地域防災力の向上について 市内には老朽化した建物や、道路が狭く消防車両が入りにくい住宅密集地が存在すると思われます。こうした地域の危険性について、市はどの程度把握し、改善計画を進めているのかお伺いします。
質問項目②	住宅密集地の町内会との協力による初期消火体制づくりや高齢者世帯への火災予防啓発活動は？
質問項目③	大規模火災の教訓を踏まえ、市としてどのように総合的な防災政策を進めていくのか伺います。
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・消防長・都市計画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 11 月 25 日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

20番議員 氏名 石田 浩 司

質問題名	カスタマーハラスメントについて
質問要旨	近年、自治体窓口や委託事業者、公共施設の職員に対し、社会的許容範囲を超える要求や暴言、長時間のクレームなど、いわゆる「カスタマーハラスメント」が増加しています。市民サービス向上は重要な使命ではありますが、職員の心身の健康を損なうような行為は決して許容されるものではありません。本市としても、持続可能な行政サービスを維持するため、適切な対策が求められていると考え質問します。
質問項目①	本市におけるカスハラの実態を把握していますか？ 対応マニュアルの有無と研修の実施は？
質問項目②	本市として独自のカスハラ防止方針やガイドライン策定（条例化も含め）の予定はあるか伺います。
質問項目③	
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・総務部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 7 年 11 月 25 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

3 番議員 氏名 葉狩 拓也

質問題名	多治見市制記念花火大会、初の秋開催を振り返って
質問要旨	本市の夏を彩る恒例行事である「多治見市制記念花火大会」は、これまで市制施行日に近い夏の日曜日に開催され、市民にとって夏の風物詩となっていました。しかし令和 7 年度は初めて秋開催となり、11 月 8 日に土岐川河川敷で打ち上げが行われました。澄んだ夜空に咲く花火は多くの来場者から好評を得た一方で、寒さへの懸念や「みんなでてりゃあ夏祭り」との連続性が失われるなど、新たな課題も生まれたと感じます。今回の秋開催を振り返り、その経緯や評価を検証するとともに、来年度以降の開催時期や祭りとの関係性をどのように位置づけていくのか市の見解を伺いたと思います。
質問項目①	今回秋開催に至った経緯について ① 今回、秋開催に至った具体的な経緯や判断理由は何だったのか。 ② 実行委員会の中でどのような検討過程があったのか、市として把握している内容をお示しください。
質問項目②	秋開催の評価検証について ① 今年の秋開催は市民や来場者から概ね好評であったと伺っていますが市として秋開催をどのように評価しているのか。 ② 観客数や経済効果、防災・安全面など、夏開催と比較した際のメリット・デメリットをどのように評価しているのか。 ③ 開催時期に関して特に寒さへの対応や防寒対策について、市としてどのような課題認識を持っているのか。 ④ 秋開催になった事により、実行委員会や職員の準備・運営の負担は例年と比べてどのように変化したと認識しているか。

質問項目③	今後の展開、来年のスケジュールについて ① 来年度の開催時期について、市として実行委員会とどのような協議を行っているのか、またそのスケジュールは。 ② 夏開催と秋開催のどちらが市民にとって望ましいか、また観光資源として効果的かそのような検証は市として行っていくのか。 ③ 現在の予算規模で、今後も花火大会を安定的に継続できるのか、また継続するためにどのような課題があるか。
質問項目④	「みんなでてりゃあ夏祭り」への影響について ① 花火大会の秋開催は「みんなでてりゃあ夏祭り」にどのような影響を与えたと認識しているのか。 ② 夏祭りの集客や経済効果に変化はあったのか。 ③ 今後両イベントを今年のような「夏、秋と分離開催」とするか、また「秋のイベントウィーク」として再編する等の検証・検討はしていくのか。また両担当課で協議していく事はあるか。
質問の相手方	市長・経済部長・環境文化部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和7年11月21日

多治見市議会 議長 様



会派名 政友会

7 番議員 氏 名 加藤智章

質問題名	中京学院大学の誘致を見据えての教育、防災、産学連携を軸としたまちづくりについて
質問要旨	先般、令和9年4月の中京学院大学のキャンパス移転が発表されました。またそれに先立って、令和8年4月には笠原こども園の開園および笠原小中学校の開校も予定されています。 笠原地区を中心に本市の教育環境が大きく変化する中、本市の未来を担う人材育成をどのように進めるべきか。 あるいは南海トラフ地震をはじめとした大規模災害発生時に、地域住民が結束して対応するために必要な対策とは。 新たな教育環境と、地場産業である陶磁器・タイルを関連付けたまちづくりとは。 これらの課題について、その解決策を探るべくご質問いたします。
質問項目①	中京学院大学の移転による、本市にとってのメリットを考えられる点についてお聞かせください。
質問項目②	中京学院大学と笠原こども園、笠原小中学校をはじめとする市内の小中学校とのコラボレーションによる相乗効果についてお聞かせください。
質問項目③	大規模災害に備えた平常時の避難訓練実施において、中京学院大学および市内小中学校と地域住民がともに取り組むことが重要と考えますが、本市の見解をお聞かせください。
質問項目④	地場産業と中京学院大学による産学連携を通じた地域経済の振興策に対する本市の見解をお聞かせください。
質問項目⑤	本市としての「大学を核とした総合的なまちづくりビジョン」の策定について、本市の見解をお聞かせください。
質問項目⑥	上記の取り組みは、長期的な視野で捉えると本市の少子化対策に一定程度効果が見込めると考えますが、本市の見解をお聞かせください。
質問の相手方	企画部、経済部、教育長

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 7年 11月 25日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

6番議員 氏名 成田 康弘

質問題名	地域住民から寄せられる要望は「市民の生活の質を示す指標」 ～安全対策の多くは「早期対応が命を救う」～
質問要旨	地域要望は、市民や子どもたちの命を守るための最前線の情報であり、現場で生じている危険を行政に知らせる極めて重要な『生命線』です。 これまで、側溝改修工事や、道路の舗装工事、カーブミラーや街路灯の設置など、多くの要望に応じてもらい事故や危険を回避していただいております。 さらには、小泉小学校正門前や小泉駅前の送迎車混雑、通学路の危険箇所、大雨時冠水する小泉交差点など、地域から寄せられる声は、日常の中で実際に危険を感じている当事者の切実な叫びであり、放置すれば重大事故につながりかねません。 本市では、2期連続で補正予算において「道路橋りょう維持費」が増額され、地域要望への対応が前進していることを高く評価しますが、現場のニーズは依然として多く、より迅速で確実な改善体制が求められています。今後さらに、この地域要望に応じてもらうための仕組み強化と予算拡大について伺います。
質問項目①	本市が受けている地区要望の手段には、どのようなものが在りますか。また、要望の優先順位は、どのように付けていますか。
質問項目②	小泉小学校正門前や小泉駅前の道路 特に、荒天時は送迎車で通行が滞っており、苦情が出ています。現状は承知しているのでしょうか。
質問項目③	県道多治見犬山線（通称ダンプ道路）は、通学路として日々歩行横断しています。先日も、ダンプカーと自転車の接触事故が有り、非常に危険な状態です。承知しておりますか。
質問項目④	小泉交差点付近は、大雨が降ると冠水し車両が通行できなくなります。排水が追い付いていないことは認識されていると思いますが、如何でしょうか。
質問項目⑤	
質問の相手方	市長、教育長、 ^{水道} 建設部長、 ^{文化} 環境部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 11 月 25 日

多治見市議会議長 様



会派名 市 民 ク ラ ブ

15番議員 氏 名 若尾 敏之

質問題名	中京学院大学と多治見市の今後のまちづくりについて
質問要旨	中京学院大学の移転に伴い、学生を確保することが多治見市の今後のまちづくりの機動力につながるの思いから質問します
質問項目①	中京学院大学に通う学生は現在、何名在籍しているのでしょうか？ 学年別・学部別にそれぞれ学生数の把握をさせていただきます。
質問項目②	その中で多治見市在住の学生は何名いるのでしょうか？
質問項目③	多治見市以外からの学生を求めることは大切ですが、地元の学生が希望する大学の姿を、どのように捉えていますか？
質問項目④	多治見市の子が地元に残り続けてくれることを大切に願い、その上で大学に果たしてもらいたい役割は何ですか？
質問項目⑤	大学への入学について、多治見市在住の学生が入学した場合、地元の学生として何か援助できる施策について考えておられますか？
質問の相手方	市長 企画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 7 年 11 月 25 日

多 治 見 市 議 会 議 長 様



会派名 新 生 自 民

1 番議員 氏 名 獅子野 真人

質問題名	こどもの教育環境
質問要旨	令和 7 年 7 月に多治見市教育委員会が発行した「令和 6 年度多治見市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」をベースにこどもの教育環境について伺う。
質問項目①	不登校者数の全体及び学年別の推移はどのようなか。
質問項目②	不登校事由はどのようなか。
質問項目③	学童保育の利用数及び待機児童数はどのようなか。
質問項目④	学童保育について保護者、第三者委員会の評価はどのようなか。
質問項目⑤	各学校の特色ある教育の内容、取組はどのようなか。
質問項目⑥	多治見市教職員の働き方改革プラン 2025 の成果はどのようなか。
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、教育長、副教育長

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 7年11月25日

多治見市議会 議長 様



会派名

自民クラブ

9 番議員

玉置 真一

質問題名	美濃焼リブランディング～歴史の認識について
質問要旨	長く美濃焼の歴史は「美濃焼 1300 年」としてまいりましたが、そろそろ統一見解として 1400 年の歴史とすべきであり、その歴史をどのように語りブランド価値を高めるか、行政と業界全体が共通意識をもって広域的に取り組むことが重要であると考え る。 令和 6 年 6 月定例会にて『美濃焼・将来に向けての取り組みについて』をテーマに一般質問を行い答弁いただいた内容の再確認も含め多治見市の現状認識と近隣他市との共有化について市政質問を致します。
質問項目①	美濃焼の歴史 1400 年について多治見市はどう捉えておられるか。
質問項目②	東濃西部について広域的に美濃焼のリブランディングに向け行政はどのような認識をもって取り組んでおられるか？
質問項目③	各自治体はセラミックバレーに対して共通認識はできているのか。
質問項目④	
質問の相手方	市長・経済部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会 議長 様



令和 7 年 11 月 25 日

会派名 公明党

13 番議員 氏名 寺島 芳枝

質問題名	更なる防災・減災対策を！
質問要旨	2024年に発生した能登半島地震は、尊い命と日常生活を奪う深刻な被害をもたらしました。時間が経過した今も地域社会の再建は続いており、断水や孤立、交通網の寸断、情報伝達のおくれ、住宅の崩壊や土砂災害など、能登が直面した課題は日本全国どの地域でも起こりえる、決して他人事ではありません。 11月会派で能登半島地方へ視察研修をおこなわせて貰った。避難所運営に携わった公民館館長、奥能登広域事務組合危機管理官、輪島市役所健康福祉部長、珠洲市防災アドバイザー（災害看護プロジェクトリーダー）等、現場で指揮を執られた方々よりお話を伺うことができ貴重な経験をさせて頂いた。地域、行政、企業、そして私たち一人ひとりが、より実効性のある備えを整える必要があることから、以下の質問、提案をする。
質問項目①	★安否確認ツールとして「無事です」ごみ袋の導入を！ 共助の一助として地域における災害発生時の安否確認は重要である。安否確認をすることで、逃げ遅れを防ぎ、一人でも多くの犠牲者を減らすことが可能となる。東京都多摩市や可児郡御嵩町などでは、黄色いごみ袋に「無事です」と記入し災害時に玄関など目立つ所にかけておく取り組みをしている。本市においても、この取り組みを導入してどうか。
質問項目②	★災害時避難行動要支援者名簿及び個別避難計画書の更新を！ 能登半島地震において、集落がいくつもある事も重なり、通信手段が断たれる中で、要支援者へのアクセスに困難を極めた。被災者の訪問に、要支援者名簿や個別避難計画書は重要な情報となる。情報は日ごとに変化しているなか、緊急時に使える情報として更新作業は重要となる。本市の災害時避難行動要支援者名簿及び個別避難計画作成の進捗状況と、更新の取り組みを伺う。
質問項目③	★段ボールベットの災害協定について 段ボールベットの使用は、雑魚寝の避難所と比較してエコノミークラス症候群のエコー検査による血栓の出現率が半数～3割に留まったとの能登半島地震時の報告がされている。一部の人だけでなく、避難者全員分の数量が必要である事、統一された種類が重要であることなどから伺う。本市の段ボールベットの災害協定はどの様なものか。

質問項目④	★衛星通信スターリンクの活用を本市でも！ 能登半島地震時では、多くの基地局が機能を失い救助や復旧作業に甚大な影響が出た。各通信会社は様々な方法で通信を試み電波を届けた。その中でも最も貢献したのが「スターリンク」通信衛星を用いたインターネットサービスである。岐阜県では可搬型衛星通信設備「スターリンク」を購入し、各市町の防災訓練等にて展示、説明を行っているところである。 本市においても、「衛星通信設備、公共安全モバイルシステム」携帯電話技術を活用した公共機関向けの無線システムであり、平時は携帯電話として使用でき、災害発生時等には各機関内及び機関間の連絡・情報共有に活用できるものである。このシステムの導入、活用を検討してはどうか。
質問項目⑤	★公立小中学校の屋内体育館への空調設備の導入を！ 緊急防災・減災事業債の期限延長の方針が示されたところである。この機を逃さず、災害時の避難所、更に児童・生徒の学習の場、地域行事の開催の場として機能充実の為に全小中学校の屋内体育館への空調設備の導入を再度提案する、市長の見解を伺う。
質問の相手方	市長 企画部長 環境文化部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 11 月 25 日

多治見市議会 議長 様



会派名 公明党

13

番議員 氏 名 寺島芳枝

質問題名	子どもを被害者にも加害者にもさせない「AI ペアレンタルコントロールアプリ」の活用について
質問要旨	この10年ほどで、スマートフォンの世帯保有率は、9.7パーセントから88.6パーセントと著しく増加。スマートフォンの普及によりSNSの利用者が増え、近年では、撮影した写真や動画をSNSなどのアプリを通じて、インターネット上でシェアすることが定着してきた。 子どもにとって身近なスマートフォンでの写真・動画撮影とSNS投稿は、個人的な情報を公開する行為であることから、保護者も子どもと一緒に、様々な危険性があることを理解する必要がある。インターネット上での自撮り写真・動画の共有に潜む危険は、子ども自身が被害者になることも、加害者になることも想定される。近年では、学校配布の学習用タブレット端末による自撮りや盗撮による問題も全国的に見受けられる。 こうした子どもによる性的な自撮りに関する被害が増える中、令和3年秋、愛知県警が、被害を防止する策について、起業家を育成するプロジェクト団体に相談。参画されていた藤田医科大学が名乗りを上げ、産官学の連携のもと、AI（人工知能）を利用して被害を防止するアプリが開発された。このアプリは、子どもを守るという意味から「コドマモ」と名付けられている。 「コドマモ」は、子どもが自分のスマートフォンで裸や下着姿などのわいせつな画像を撮影・保存した際、AIが撮影データを判別し、画像を削除するよう促す通知が表示されるとともに、保護者にも通知されるというペアレンタルコントロールができるシステム。AIはサーバーを介さず、端末上で完結するため、画像は端末の外に共有されることはなく、プライバシーは保護される。 「コドマモ」アプリに期待される効果としては、犯罪を減らす抑止力になること、親子の対話を促進する仕組みとなること、子どもが加害者になることを予防すること、また、学校配布の学習用タブレット端末にインストールすることで、学校内外での性的な自撮りや盗撮を防ぐことができることなどがあげられる。 子どもたちが心豊かに健やかに育つためにも、犯罪に巻き込まれる危険性を遠ざけ、トラブルを未然に防ぐ手立てを講じることは重要なことであると考える。そこで以下伺う。

質問項目①	本市における情報モラル教育の状況と課題、懸念事項はどのようなものか。
質問項目②	子どもを守るため愛知県警等が開発したアプリ「コドマモ」の周知・啓発を行ってはどうか。
質問項目③	学校配布の学習用タブレット端末に「コドマモ」アプリをインストールしてはどうか。
質問の相手方	教育長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議員 様

令和 7 年 11 月 25 日

会派名 日本共産党

16 番議員 氏 名 三輪寿子



質問題名	子どもたちが安心して学べる教育支援を！
質問要旨	子どもの権利を尊重し、子ども・保護者が安心できる支援とは？ 次の4つの課題について質問する。 ●不登校児童生徒・教員の精神疾患の実態と課題 ●英語教育の小学教科化・中学校英単語2倍化による学力検査結果と教員の指導状況・英語教育政策の課題 ●校内教育支援センターの現状と課題 ●来年4月から公立小学校で給食無償化を国費で実施と表明されたが、当市の実施予定は？
質問項目①	過度な競争と管理「学習指導要領の授業時間数増・全国学力テスト・ゼロトレランス（子どもへの管理強化）・新たな教員評価」など 国の教育政策の下、不登校児童生徒、教員の精神疾患による休職が増えているが、当市の実態はどのようなか？改めて、子ども・先生を人間として大切にする学校にする為にどのような改善が必要か？
質問項目②	●全国傾向で小学英語科と中学英単語2倍化で「英語ざらい」が増えている。教師も英語の教科書が「教えづらい」という声が多いが、当市の実態はどのようなか？英語教科指導はどのようなか？課題はなにか？
質問項目③	●不登校の子どもたちを受け入れる校内教育支援センターの現状・評価と課題はどのようなか？
質問項目④	●政府は26年度4月から国費による公立小学校の給食費無償を実施する。としているが、当市は実施されるのか？
質問の相手方	市長・教育長